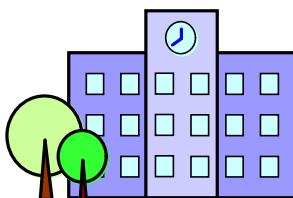


平成 31 年 3 月 12 日

【学校教育目標】

- ☆よく考え進んで学ぶ子
- ☆心豊かで思いやりのある子
- ☆健康でたくましい子

まど



「教育活動に関するアンケート」の結果のお知らせ

「教育活動に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。また、今年度は経営の重点4項目（1～4）については5年生以上の児童にもアンケートを取って比較考察致しました。

アンケートに記述して頂きましたご意見等を今後の東野幌小学校の教育に生かして参ります。引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い致します。

1 本校の平成 30 年度経営方針

1 創造的な能力の育成

多種多様な社会に適応できる力を身に付けさせる教育の推進と、未来を作り出す人材の育成

2 正しい価値判断で、社会貢献に関心を持つことができる心の育成

地域や社会に対する誇りや愛着心を持たせる地域教材を横断的に取り入れた、計画的な教育課程の編成及び、コミュニティ・スクールを生かした家庭、地域と学校が一体となった教育活動の推進。

3 発信力、コミュニケーション能力の育成

失敗の練習を意図的に体験させ、課題に対し臨機応変に対応できるたくましさの育成及び、発信力、コミュニケーション能力を高める意図的な対話や交流場面の設定重視

2 本校の本年度の重点目標

- 1) 学ぶ目的を理解し、目標に向かって主体的に探究し、学習する児童の育成（知）
- 2) 仲間と協力することや、ふるさとに誇りを持ちながら、感謝の心を大切できる児童の育成（徳）
- 3) 規則正しい生活習慣や食習慣を身に付け、明るく心身ともに調和のとれた児童の育成（体）

3 アンケート結果の考察と今後に向けた方向性

「A」:達成されている、「B」:ほぼ達成されている、「C」:あまり達成されていない、「D」:達成されていない

平均 = $4A+3B+2C+1D$ / 回答人数 児童は5,6年

分野	評価項目	児童等の評価項目の状	回答人数					H30 平均	H29 平均	A・B% H30	結果の考察と今後に向けた方向性		
			A	B	C	D	?						
1 経	コミュニケーション能力の育成が図れていたか。	・授業を中心とした教育活動全般で、コミュニケーション能力を身につけることができている。	職員中間	1	19	3	0		2.91	2.73	91.3	・経営方針の3つの柱「発信力・コミュニケーション能力の育成」の実現のために、各学級では授業中の話し合い活動設定の重視に加えて、朝の会帰りの会で実施していました。また委員会活動においても委員会独自の活動を子ども達が生き生きと表現する場面を設定して成果を少しずつ成果を上げてきています。また子ども達の回答結果からはこの部分は弱いと確認できました。継続して意図的な対話による交流や考えさせるための発問の工夫を積み重ねて更に向上させていきたいと思ひます。	
			職員学末	6	15	2	0		3.17	3.05			
			保護者	69	151	30	0	11	3.16	3.13			88.0
			児童	9	76	22	2		2.84				78.0

2	方	営	元気でさわやかなあいさつ・返事の指導が適切に行われたか。	・学校生活におけるあいさつ指導の重視と委員会活動等によるあいさつ運動の推進によって、元気でさわやかな挨拶や返事ができるようになっている。	職員中間	5	16	2	0		3.13	3.00	82.6	・各評価項目の中で、A・B%で職員・保護者・共に1番低い評価になっています。朝の委員会の挨拶運動では大きな声が玄関に響いています。更に取組内容を工夫して、だれもが「元気でさわやかな挨拶」を実感できる学校づくりを行っていきます。	
					職員学末	4	15	4			3.00	2.82			
					保護者	70	146	39	1	6	3.11	3.11			84.4
					児童	29	60	18	2		3.06				81.7
3	の	針	基礎・基本事項の確実な理解・定着の指導が適切に行われたか。	・基礎・基本事項の確実な定着をめざした授業実践において、基礎・基本事項を確実に身につけることができている。	職員中間	5	15	2	0		3.14	3.09	91.3	・日頃から各学級で基礎・基本事項が身につく指導工夫（ICT機器を用いての授業実践、話し合い活動の重視、課題設定の工夫等）を実践しています。継続して指導していきます。5の項目の評価項目のTT・少人数指導の充実の成果も大きく表れています。	
					職員学末	6	15	2	0		3.17	3.09			
					保護者	94	138	24	2	3	3.26	3.23			89.9
					児童	49	44	14	2		3.28				85.3
4	点	重	家庭学習の定着を図る、保護者との連携の強化が行われたか。	・学級通信や家庭学習の手引きによって、保護者は学校と共に家庭学習に向けた声かけ等を行うことができている。	職員中間	8	13	1	0		3.32	3.14	91.3	・家庭学習の手引きや家庭学習の取組、家庭学習ノートの展示、担任からの家庭学習に対するコメント、またご家庭のご理解お声かけ等もあり家庭学習に向かう時間は全国平均を大きく上回っています。また、家庭学習の課題の与え方等については保護者からもご意見を頂いております。現状を考えながら改善し、継続してご家庭と協力して学習に向かう習慣を付けていきます。	
					職員学末	8	13	2	0		3.26	3.23			
					保護者	108	125	24	1	2	3.32	3.26			90.3
					児童	66	32	7	4		3.47				89.9
5	課	教育	TT、少人数指導等指導体制が適切に行われたか。	・学習支援員によるT、T指導、習熟度別指導の計画的な推進により子どもたちは効果的な学習をしている。	職員中間	10	12	0	0		3.45	3.57	87.0	・担外のTT指導、学習支援員等のサポートにより、手厚い指導がされて、全国学力調査の高い結果に結びついています。継続して指導していきます。一方、保護者の回答では取組や効果についてわかりづらいと「わからない」と多く回答した項目でした。更にお便りやブログ等で活動の様子が伝わる工夫をしています。	
					職員学末	8	12	3	0		3.22	3.55			
					保護者	85	117	15	1	44	3.31	3.31			92.7
6	指	学	わかる授業を展開し、児童が楽しく授業に参加していたか。	・わかる授業のための授業課題の明示と課題解決に向けた手立てを意識した授業改善の推進により楽しく授業に参加している。	職員中間	5	17	1	0		3.17	3.05	90.9	3・5の項目と重複した部分がありますがわかりやすい「課題」の提示、「まとめ」の効果的な提示やICT機器を効果的に用いた学習指導等を行って成果が出ています。来年度も授業改善に継続して取り組んでいきます。	
					職員学末	7	13	2	0		3.23	3.05			
					保護者	120	116	7	2	14	3.44	3.33			96.3

7		交流学習やひびきっず等の活動を通して、人を思いやる心の育成を図ることができたか。	・交流学習やひびきあい運動を通して、他者との繋がりを意識することができている。	職員中間	7	12	4	0		3.13	3.14	78.3	・保護者からは本校の交流学習やひびきあい運動の大切さを実感する声が届けられています。来年度に向けては、実態に即した実施内容について確認し、活動の見直しをしながら素晴らしい伝統を継続していきます。
		職員学末	5	13	5	0		3.00	2.95				
		保護者	100	137	13	0	9	3.35	3.35	94.8			
8	生徒指導	児童が意欲的・想像的・自主的な活動ができる児童会づくりに努めたか。	・児童が自主的な活動ができる行事や、活動の場の設定により意欲的・想像的・自主的な活動ができている。	職員中間	10	12	1	0		3.39	3.14	87.0	各学級、学年、委員会活動で子ども達の自主性や創造性を発揮できる取組が工夫されて実践されています。保護者からも活動の内容を実感されています。継続して取り組んでいきます。
		職員学末	12	8	3	0		3.39	3.41				
		保護者	102	127	9	0	24	3.39	3.43	96.2			
9		家庭や地域との連携を密にし、児童の健全育成を図ることができたか。	・学校便りやHP、ブログ等により保護者や地域の方等は学校の情報を知ることができている。	職員中間	12	10	1	0		3.48	3.36	100.0	学校便り、学年通信、ふくろう通信、ブログ等で、学級、学年、委員期巫、授業様子、地域との連携の様子が発信されました。今年度後半から不審者情報についての情報も家庭に加えて地域にも速報で伝達しています。学校と地域が繋がった活動を推し進めています。
		職員学末	8	15	0	0		3.35	3.41				
		保護者	106	125	13	3	12	3.35	3.36	93.5			
10	健康安全	食育に関わる食の指導・給食指導や体制は、適切であったか。	・給食指導等により食に対する高い関心をもつことができている。	職員中間	6	14	3	0		3.13	2.94	82.6	保護者への食育の働きかけや栄養教諭による食育授業によって食育の意識は高まっています。また、地元の企業のサポート受けての作物の栽培と収穫祭も実施しています。一方、江別市が実施している「お弁当の日」の設定についてはいろいろな意見があります。来年度も家庭の了承を得やすい方法を丁寧に伝えながら実施していきます。
		職員学末	6	13	4	0		3.09	3.14				
		保護者	80	130	26	4	20	3.19	3.15	87.5			
11	全指導	交通安全や防災等に関わる指導や体制は、適切であったか。	・日常的な安全指導により、身の安全を守る適切な行動をとることができている。	職員中間	11	11	1	0		3.43	3.14	91.3	今年度今まで体験しなかった自然災害や不審者情報の増加等がありました。地域自治会との連絡を密に取ることにや警察の関係機関に直接に連絡を取ることで、危機感を和らげることができました。今後も継続して地域や関係機関と連絡を密にして様々な状況を乗り越えていきます。
		職員学末	14	7	2	0		3.52	3.45				
		保護者	114	130	9	1	5	3.41	3.29	96.1			

12	顔 づ く	「読み書きを身につけ読書愛する子どもを育てる実践校」の取り組みは適切であったか。	・朝読書や読み聞かせにより、読書に親しむことができる。	職員 中間	12	10	1	0		3.48	3.50	95.7	よみつきーさんの読み聞かせや作業により、充実した読書環境が整っています。来年度もボランティアや関係機関と連絡を取りながら充実させていきます。
				職員 学末	12	10	1	0		3.48	3.45		
				保護者	130	100	25	0	4	3.41	3.34	90.2	
13	り 事 業	「学校・地域・関係機関などの連携による子どもを守る実践校」の取り組みは適切であったか。	・自治会やふくろう会の見守り活動により地域と連携した活動ができています。	職員 中間	15	8	0	0		3.65	3.59	91.3	年間3回の地域安全会議では付近自治会の多くの代表が集まり情報交換を行っています。自治会やふくろうの会、PTAの街頭指導により子どもを守る取組が充実しています。今年度は不審者情報が増えて地域や関係機関との連携の重要性を再認識できました。来年度も関係機関との連携を強めて継続して取り組んでいきます。
				職員 学末	14	7	2	0		3.52	3.64		
				保護者	150	98	7	1	3	3.55	3.59	96.9	

学校アンケートから新年度に向けての対応

- 地域とのつながり ～ ・地域に開かれた学校を目指し、コミュニティ・スクールの実施により地域と繋がった活動を実施しています。更に今後、地域や幼・中との連携も強めた活動を検討していきます。また、保護者の方に活動を十分には伝えられなかった部分がありました。活動を実感してもらえる様に工夫していきます。
- 危機対策 ～ ・朝の交通指導や非常時の連絡体制については高い評価を頂きましたが、不審者対策については不安であるというお声もありました。今年度、不審者対策として、江別署の生活安全課と連携を強め、不審者情報時の早急のパトカーの巡回の協力を頂きました。更に自治会や警察等と連絡を密にして安心して登下校できる対策に取り組めます。
- ・また、震災時に光電話が不通になり連絡網が使えなくなった事を踏まえ、新年度からは全校一斉連絡時、学年一斉連絡時は、まちCOMIメールでの連絡に一本化致します。(電話連絡網は学級P連絡用に残します。)

ブログにて日常的な情報を、連日発信していますので、是非ご覧下さい。

ブログのアドレス → <http://blog.webone.ne.jp/higasinos>